

RoHS Compliant

7	カバーブーツ	TPV(黒)	1	--		尺度 1/1	製 図	検 図	承 認	確 認	品 名 MC-3P-C
6	カバー	POM(黒)	1	--			渡邊	檜	山	三	
5	インナーカバー	POM(黒)	1	--		単位 mm	'16.08.05	'16.08.05	'16.08.05	'16.08.05	図 番 Y-0714815
4	シェル	亜鉛ダイカスト	1	Ni			直弘	澤	本	村	
3	コンタクト端子	黄銅	3	Au		日付 2016.08.05	投影法			株式会社 トーコネ TO-CONN CO.,LTD.	
2	アースラグ端子	リン青銅	1	Ni							
1	絶縁体	PPS(黒)	1	--							
番号	部 品 名	材 質	数 量	処 理	備 考						

仕 様 書

品 名 MC-3P-C

No. 0711828

図 番 Y-0714815

株式会社トーコネ

1 定格電圧

AC125V

2 定格電流

15A(AC125V時)

確 認	検 印	作 成
山 16.08.08 本	檜 16.08.08 澤	渡邊 16.08.08 直弘

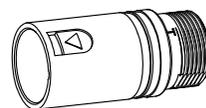
	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 Y-0714815)	異常のないこと
2			
3			
4	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
5	耐電圧	DC 1000V 1分間	異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて	各コンタクト 5mΩ以下
7	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
8	嵌合耐久性	適合コネクタにて、2000回の挿抜	異常のないこと
9	的 特 性		
10	ハンダ耐熱性	手半田：コテ先温度370°C±5°Cにて 3秒±1秒印加にて	異常のないこと

GKQM-19-1

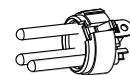
	変更履歴	日 付
1		
2		
3		

MC-3P-C 取付仕様書

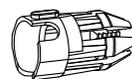
部品構成



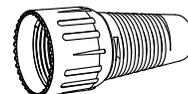
シェル



コンタクト端子部品

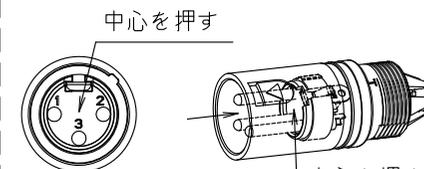


インナーカバー



カバー・ブーツ

◎コンタクト端子部品 取出し方

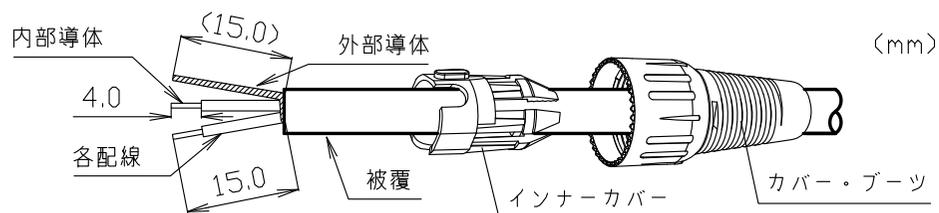


φ3.0mm位の竹串等を利用し、平らな面で押し出す

図番 Y-0714815



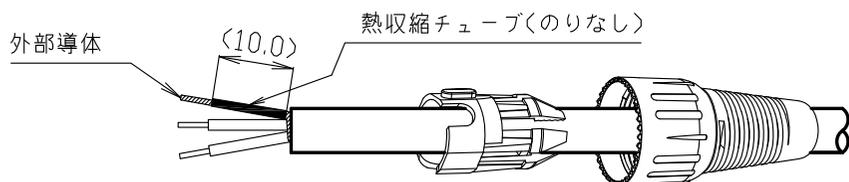
作成	確認
栗原	山本
'16.11.29	'16.11.29



番号	変更・記事	日付
▲	コンタクト半田付け関連 変更・追記	2016.11.29

- 1 インナーカバーとカバー・ブーツをケーブルに通す。
ケーブルの被覆を図中の寸法で剥き、外部導体・各配線を図のようにほぐし、外部導体は1本に撚っておくこと。
各配線の内部導体は図中の寸法で剥くこと。

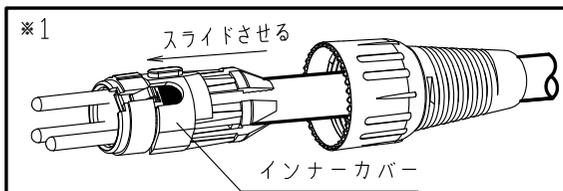
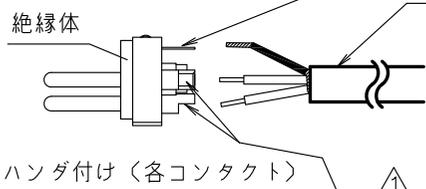
※配線を覆っている糸などがある場合は切り取って下さい。



- 2 外部導体根元から、熱収縮チューブを図中の寸法で被せ収縮させる。

ハンダ付け (アースラグ端子)

ハンダ付け後、手で軽く引張り抜けない事

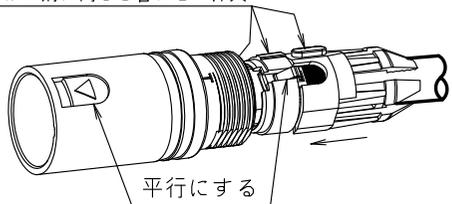


- 3 各コンタクト・アースラグ端子に対してハンダ付けを行う。
注意：ハンダが盛り上りすぎないように気をつけること。
絶縁体が溶けないようにハンダ付けを行うこと。
ケーブルを軽く引張り抜けないか確認すること。

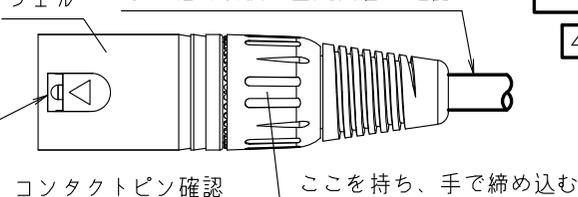
ハンダ付け後、※1のようにインナーカバーをセットする。

▲※配線種類・接続機器によって結線方法が複数あるので、接続先に合わせた結線で取付けすること。

シェルの溝に向きを合わせて挿入



手で軽く引張り固定具合を確認



- 4 コンタクト端子部品等をシェルの溝に向きを合わせて装着後、カバー・ブーツを手で締め込み固定する。
最後にケーブルを軽く引張り固定具合を確認すること。